



撮影日：平成30年2月27日

議会だより



いちさんばち

2018年5月号

創刊にあたって	1
おしえて!いちみん	1
常任委員会	3
一般質問	5
議案・請願審議結果	9
Doors -トピックス-	裏表紙

タイトルの **議会だより** **138** **いちさんばち** には、一宮市を意味する「1」と、「38」名の
一宮市議会議員が、市民の皆さんと共によりよい一宮市にしていきたい、との思いが
込められています。語呂合わせ「138」や、かつての門前市「三八市」などを重ね、
親しまれる議会だよりをめざします。

3月定例会の概要

3月定例会は、2月27日から3月23日まで25日間の会期で行いました。

- 2月27日の開会日には、市長から平成30年度の施政方針演説があり、続いて一般会計の予算案など45議案が提出されました。
- 3月5日、7日、8日の3日間に15人の議員が市政全般に対する一般質問を行いました。8日には開会日に提出された議案の質疑を行い、その後、議案を常任委員会に付託しました。
- 3月12日～15日までに開催した企画総務・福祉健康・経済教育・建設水道の各常任委員会において付託された各議案を審査しました。
- 3月23日の閉会日には、各常任委員会委員長から審査結果が報告され、討論を経て、市長から提出された議案を全て原案どおり可決しました。また7件の請願書については、いずれも不採択としました。その後、議員からも2件の議案を提出し、さらに、市長から1件の議案が追加で提出され、いずれも可決しました。

議案等の内容については、広報一宮4、5ページの「市政ニュース」及び一宮市のウェブサイト(ホームページ)をご覧ください。

- ID 1019392(条例関係)
- ID 1018652(平成29年度予算)
- ID 1023546(平成30年度予算)

各記事に掲載の **ID**(7桁の数字)を、市ウェブサイトの「ページID検索」に入力すると、該当記事の情報がダイレクトに表示されます。

ID 1000010 表示

創刊に あたって



一宮市議会では、「市民に開かれた議会」を目指して、議会改革を進めてまいりました。

また、平成28年12月に制定した議会基本条例において、議会広報の充実を図ることになり、その活動の一環として、平成30年度より議会だよりを定例会ごとに発行することになりました。

議会の審議内容や活動などを、より知っていただくためにスタートした議会だよりです。この議会だよりが、市民の皆様とのかけ橋のひとつになればと願っております。どうか末永くご愛読いただきますようよろしくお願い申し上げます。

一宮市議会議長

末松 光生



市議会紹介コーナー

おしえて、いちみん

どのような経緯で「議会だより138」を発行することになったの？

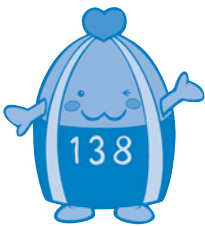


一宮市議会では、平成23年に設立した議会改革検討協議会で、議会だよりの発行について本格的な議論が始まりました。

平成25年には「費用対効果の検証を踏まえ、他のメディアとの連携を図った内容の充実が重要だ」との中間報告がありました。

平成27年の市議会議員選挙を経て、再開した議会改革検討協議会では、「発行費用をできる限り抑えて議会情報を発信しよう」と協議がまとまり、平成28年に制定された一宮市議会基本条例の中に議会だよりの発行を規定しました。

平成29年7月に設立した「議会だより編集準備部会」では、市公式ウェブサイトとの連携に重点をおいた議会だよりとするための方策などを検討し、10回を超える会議を重ね、創刊にいたしました。



議会だより138はいつ発行されるの？



年4回発行する予定です。

- 5月号（内容は3月定例会）
- 8月号（内容は6月定例会）
- 11月号（内容は9月定例会）
- 2月号（内容は12月定例会）



市議会はいつ開かれて
いるの？



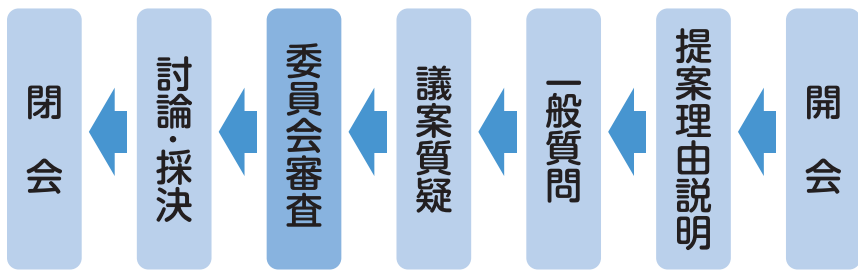
一宮市議会定例会は、「一宮市議会の定例会の招集時期を定める規則」により、原則3月、6月、9月、12月の年4回開催されることになっていきます。市長の求めにより、市議会臨時会が開催されることもあります。



定例会ではどんなことが行われるの？



各定例会では、市長から提出された予算案・条例案などや、議員自ら提出した条例案などを審議して、一宮市の方針などを決定します。議員が市長に対し、市政全般について質問する「一般質問」も行われます。また、3月定例会では、市長が新年度の施政方針演説を行います。



定例会はどんな流れで進むの？



委員会の様子

議会で話し合うことは幅広い分野にわたっており、大変複雑です。そこで効率的、専門的に審査するために、4つの常任委員会が設置され、本会議で議決（議会として決定すること）する前に、原則、常任委員会で審査を行っています。

常任委員会って何？

	企画総務(10人)	福祉健康(10人)	経済教育(9人)	建設水道(9人)
(長)	(公明党) 柴田 雄二	(新政会) 岡本 将嗣	(一志会) 大津 純	(新政会) 井上 文男
(副)	(新政会) 佐藤 英俊	(新緑風会) 中村 一仁	(新政会) 島津 秀典	(一志会) 森 ひとみ
委	(新政会) 竹山 聡	(新政会) 則竹 安郎	(新政会) 井田 吉彦	(新政会) 浅井 俊彦
	長谷川八十	日比野友治	横井 忠史	渡部 晃久
員	花谷 昌章	和田彌一郎	渡辺 之良	(一志会) 松井 哲朗
	(一志会) 鶴岡 和司	(一志会) 高木 宏昌	(一志会) 太田 文人	(公明党) 渡辺 宣之
	京極扶美子	森 利明	(公明党) 平松 邦江	(共産党) 橋本 浩三
	(公明党) 河村 弘保	(公明党) 水谷千恵子	(共産党) 尾関 宗夫	(新緑風会) 西脇 保廣
	(新緑風会) 高橋 一	(共産党) 彦坂 和子	(市 民) 服部 修寛	(愛西会) 谷 祝夫
	(自 民) 伊藤 裕通	(改 革) 末松 光生		

※(長)=委員長 (副)=副委員長 ※順不同
 ※共産党=日本共産党一宮市議団、自民=自由民主党一宮市議会、市民=一宮市民クラブ、改革=改革クラブの略です。

所属先を決める際は、同じ会派の議員が特定の常任委員会に偏らないよう配慮しています。平成30年3月現在の所属状況は左の表のとおりです。

議員はどの常任委員会に所属しているの？

名称	定数	所管事項
企画総務委員会	10人	企画部、総務部、会計課、消防本部及び消防署、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、その他の委員会の所管に属さない事項
福祉健康委員会	10人	市民健康部、福祉部、こども部、病院事業部
経済教育委員会	9人	経済部、環境部、農業委員会、教育委員会
建設水道委員会	9人	まちづくり部、建設部、上下水道部

3月定例会の付託(委員会に審査を委託すること)状況は9-10ページをご覧ください。
 ※平成30年4月から、企画総務委員会は「総務委員会」に、企画部は「総合政策部」にそれぞれ名称変更しました。

市の部局を左の表のように分け、その部局が所管することについて審査します。

4つの常任委員会はどんなことを話し合っているの？

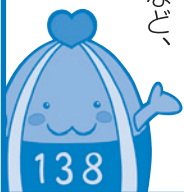
「議会運営委員会」があります。議会運営委員会では、主に本会議や常任委員会の運営について、円滑にしかも能率的に進めるための協議を行っています。

例えば、採決方法には「起立採決」や、全議員が賛成することを前提とした「簡易採決」などがあります。簡易採決は、議長が「…についてご異議ございませんか」と議員に確認する形式をとり、賛成者を起立させることはありません。

1つの定例会で審議する案件は多く、今回の3月定例会では55件ありました。議員が立ったり座ったりする回数を減らせれば、それだけでも時間短縮になりますので、事前の議会運営委員会で採決方法を協議します。ほかに、本会議等の開催に際しては、協議することがたくさんあります。

そのほか議員提出議案の検討、議会の改革など、協議事項は広く議会運営全般にわたります。

ほかにも委員会はありますか？





常任委員会

4つの常任委員会で議案を審査しました。

- ・質疑等の内容を要約して掲載しています。
- ・委員会記録は5月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

企画総務委員会

中核市移行推進事業について

Q 概ねの移行スケジュールを問う。

A 移行スケジュールは「移譲される事務の精査」「市の実施サービス・保健所設置の検討」「議会への提案」の順で進める予定です。移行の時期は、県との協議次第ですが、議会の提言にもありました市制施行100周年を目標として検討します。

VR動画活用事業について

Q 当市への就職を促すために市役所の業務を紹介するVR動画を作成し、名古屋大学周辺等全国14カ所にある「知るカフェ」で見ることができるようにするとの説明があった。地方自治体初となるVR動画の導入はインパクトがあると思うが、VR動画配信サイトでの配信を実施する予定は。



A 配信は行う予定です。ただし、視聴には専用のVRゴーグル等が必要となります。

Q 災害疑似体験のVR動画は出前講座でも使用するのか。

A 出前講座のほかに総合防災訓練や連区の防災訓練での活用を予定しています。

第三者相談委員会開催事業について

Q 市職員による市民への対応でトラブルが発生し、解決が困難な場合に開催する委員会の委員を、法律の専門家である弁護士でなく行政相談委員とする理由は。

A ある事柄が合法か違法かの判断を仰ぐための組織ではなく、市民と市との間で認識や考え方にずれがあり、議論がかみ合わない場合に、相談をするためのものだからです。

Wi-Fi整備事業について

Q この事業は防災・観光など多目的であるが、防災に重点を置き、避難所に指定されている学校の体育館への整備を優先すべきではないか。

A 防災という面では体育館が優先と考えますが、設置予算に限りがあること、また、平時により多くの市民が利用できること、さらに施設側の希望を踏まえ、まずはインターネット回線が既にある施設に整備をします。

福祉健康委員会

木曾川老人いこいの家の介護予防交流スペース整備について

Q 休止中の入浴施設を介護予防・地域交流スペースにするとのことであるが、施設利用者の意見は反映されているのか。また、今後、同様の施設に対する市としての考えはどうか。

A 施設利用者だけではなく、木曾川町の老人クラブや一宮市高齢者福祉計画策定の際に、高齢者を対象にアンケートを実施しました。他の施設については、利用状況や修繕費用、今回の事業の成果等を勘案して検討してまいります。

奥町西保育園の乳児保育施設整備について

Q 過去に乳児保育が廃止になった奥町西保育園で乳児保育を行うとのことであるが、これは地域からの要望によるものか。

A 地域の要望ではなく、近隣の保育園での乳児保育が早い段階で定員に達するため、その対策として、乳児保育を開始するものです。また、幼児の入園者数は奥町東保育園に比べ余裕があるため、乳児保育が開始できれば幼児保育の申し込みにもつながり、入園者数の平準化も期待できます。

意見 乳幼児保育は地域の実状や要望を把握して進めてほしい。

保育所等施設総合管理計画策定業務について

意見 木曾川町には非常に古い木造の保育園がある。総合管理計画策定時には、他の保育園と同様の良い環境で子供達を保育できるようにしてほしい。

介護保険料の引き上げについて

Q 介護保険料には市の独自の減免制度があるが、さらに拡充する考えはないのか。

A 第7期高齢者福祉計画で定めた介護保険料では、現状の独自減免を継続していきます。また、介護保険における所得の考え方が変わること、どのような影響がでてくるかを注視しながら来期以降に検討します。

意見 被保険者の心情を察すると、介護保険料の引き上げとなる、議案第5号、議案第34号には賛成できない。

その他の意見

議案第1号、議案第3号、議案第4号、議案第33号は賛成できない。

経済教育委員会

学校給食の配送業務について

Q 共同調理場で給食ができてから学校で児童・生徒が食べ始めるまでの時間は2時間以内と定められているが、現在の配送体制でそれは守られているか。

A 配送車両を以前より増やしたことにより、2時間以内に食べ始めることができているとされています。



Q この業務の委託料は平成29年度より大幅に下がっているが、どのような理由からか。

A 従来の業者との委託契約が平成29年度で終了するため、新たな契約締結のための入札を行いました。これに2つの事業者が参加した結果、競争原理が働き、委託料が抑えられたと考えています。

Q 業者が交代することにより、配送業務に支障は生じないか。

A 新しい業者は県の学校給食食会などで既に配送を受託している実績のある企業です。3月中に配送ルートの引継ぎと確認を行う予定です。

小学校の空調設備整備事業について

Q 空調を稼働させる燃料費は年間いくらくらいになるか。

A 年間で3500万円を見込んでいます。

Q 施工及び維持管理において契約する協力企業の中には、市内の企業がどれほど参加する予定なのか。

A 施工は18社のうち12社、維持管理は2社のうち1社が市内の企業を予定しています。

Q 室内機の工事は夏休み中に行われるとのことだが、出校日はどうなるのか。



A 作業工程は必ず事前に学校側と相談して決定することになっていきます。出校日はできる限り工事のない日となるよう調整してまいります。

Q 空調の設置により小・中学校の環境が良好となることで休業日や授業の計画はどう変わるのか。



A 休業日をどのように設けるか、また、

夏休み前後の1週間に行っている短縮授業のあり方についても今後検討してまいります。

企業の誘致について

Q 企業立地奨励補助金の活用状況はどうか。

A この補助金は平成14年度から続けており、補助金額が3億円を超える年度が4回ありました。平成29・30年度も超えており、進出企業の活用度は非常に高いと考えています。

Q 企業誘致の今後の見通しはどうか。

A 当市に進出予定の複数の企業から、平成31年度分の企業立地奨励補助金の利用についての問い合わせもあり、企業誘致は好調を維持していると考えます。また、平成32年度には（仮称）西尾張インターチェンジが完成予定ですので、その周辺を、主に製造業及び物流業の利用を図る、当市の5番目の指定区域とするため、関係部署と連携を進めてまいります。



建設水道委員会

都市計画マスタープランの見直しについて

Q 第7次総合計画を踏まえ、都市計画マスタープランを見直すとのことだが、第6次総合計画からの課題となっている「総合的な土地利用を推進し良好な都市環境をつくる」には、具体的にどのように取り組むか。

A 商業施設や工場・住宅といった用途の異なる建物の混在を解消するため、都市計画マスタープランを高度にした立地適正化計画の策定を引き続き進め、さらに用途地域についても見直しを検討してまいります。

EU国際都市間協力プロジェクト事業について

Q この事業の内容はどのようなものか。

A 一宮市とギリシャのイオアニナ市がペアを組み、相互訪問による会議等を通じてさまざまな課題を定め、問題解決のための取り組みや成功事例について互いに学びの場です。



ギリシャ・イオアニナ市 市章

この事業により、広くヨーロッパのまちづくりを学びきっかけにしてまいります。

公園施設長寿命化対策・安全安心事業について

Q 公園の安全安心事業の具体的な整備の内容、また今後はどうに進めていくのか。

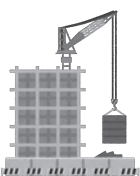
A 高齢者や障害を持った方が公園内を支障なく移動できるよう、園路や広場、便所、駐車場のバリアフリー化を行います。

一宮市ではすでに園路や広場、駐車場では国が設定したバリアフリー化の目標値を達成しており、便所でもその目標値にかなり近づいて来ています。引き続きその達成に向け整備を進めてまいります。

佐千原浄水場第2ポンプ棟建設事業について

Q なぜ耐震補強ではなく、新たなポンプ棟を建設するのか。

A 耐震補強を行うためには、工事中に稼働を停止しなければなりません。しかし佐千原浄水場では多くの水を供給しているため止めることはできません。そこでポンプ棟自体が老朽化していることも考慮し、新たなポンプ棟を建設し稼働を切りかえるものです。





一般質問

3月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。

- ・本稿は、質問議員本人が作成しています。
- ・QRコードは各質問議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は5月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1005109

服部 修寛 議員

(二宮市民クラブ)

スポーツ振興について

Q 一宮市をホームタウンとするチームへの応援体制を整え、一宮市主催や共催の事業等に積極的に参加をお願いする事で、市民に広くアピールできファンも拡大していくと思うが、いかがか。

A 市の情報媒体等で、チームのPRやホームゲーム開催を告知し、市民に根付く地元チームとして、応援する気運を醸成すると共に、各競技の普及振興につなげたいと考えます。

聴覚障がい者災害時支援マニュアル策定について

Q 災害時には、障害毎に最も適切な支援のあり方を検討し、取り組める体制を構築する事が必要と考えるが、いかがか。

A 避難所利用者の事情に合わせた配慮の方法については、避難所開設に携わる職員研修の機会に周知していきたいと考えます。

一宮市斎場の残骨灰の処理について

Q 残骨灰処理の一円入札については、批判的な意見が多い。市民の理解が必要であり、市民からの意見を聴取し適切な対応をすべきと考えるが、いかがか。

A 他市の状況を見極めながら検討して参りたいと考えます。



中村 一仁 議員

(新緑風会)

快適な未来型都市を目指して

Q プログラミング教育のため、小中学校にペッパーが導入された。そこで、ペッパーに搭載されたAIやロボアプリの活用を検討してはどうか。

A ペッパーには、漢字や計算といったドリル学習や、英語で会話をするロボアプリが搭載されています。このロボアプリ活用が児童生徒の学習に有効かどうか今後検討します。



Q 一宮市は、AIを今後どのように活用していくのか。

A 現在は、将来のAI活用に向けて、名古屋大学やIT企業と連携して、AIの活用事例の研究や適用可能な業務の洗い出しをしている。今後、利便性の高い市民サービスの提供や業務効率の向上を目指して、できる業務からAIを導入します。

その他の質問項目

・自然災害に備えて



高橋 一 議員

(新緑風会)

女子スポーツチームについて

Q フットサル、ソフトボール、フットサルと女子3チームが一宮市をホームに活躍しているが、元気な一宮市と活性化に友好連携できないか。

A 有難いことであり、市としても練習場確保や試合日程の広報に協力しています。今後は市民のサポート意識を盛り上げてまいります。

市役所立体駐車場について

Q 障害を持つ方や高齢の方が駐車しづらい、車路も狭くて危険。夢織り広場を駐車場として有効活用できないか。

A 障害者用は法基準を満たす5台分を確保しています。しかし、混雑時にはご不便をかけることもあり、今後の広場利用のあり方を検討する中で、研究していきたいと考えています。

狭隘道路地区の消防、救急、ゴミ収集について

Q 大型車が入っていけない狭隘地区が多いが、消防、救急、ゴミ収集に支障はないか。

A 消防活動では、糸魚川市大規模火災を踏まえ、狭隘地区の警防計画を策定し万全の体制を構築してまいります。ゴミ収集については収集車が入れる集積場所まで協力頂いています。



森 ひとみ 議員

(一志会)

認知症について

Q 65歳以上の認知症高齢者数を、有病率15%から推計した場合、一宮市では何名の方が当てはまるか。

A 平成30年1月1日現在で、約1万5千人となります。

Q 認知症で徘徊される方に対してどのような対策を取っているか。

A 行方不明高齢者等捜索メール配信事業を実施しています。

Q 認知症で徘徊する高齢者が踏切事故で損害賠償を求められたことにより、大和市は個人賠償責任保険に市が契約者となり加入することとした。一宮市でも検討するのにか。

A 当市も鉄道が走っており、踏切も少なくないため、この保険の内容や条件等を研究したいと考えています。

地域づくり協議会について

Q 地域づくり協議会に対する市のサポート体制はどのようになっているか。

A 連区にある各出張所所長、地域ふれあい課、尾西、木曾川事務所職員が事務等のサポートを行っています。

Q 連区内で行われる会議や打ち合わせなど連区長の負担軽減を考えると2日を1日に、また午前のみ午後のみにすることは可能か。

A 連区の調整の場として地域づくり協議会として決めて頂ければ結構です。



岡本 将嗣 議員

(新政会)

一宮駅周辺の容積率緩和について

Q 2027年の品川〜名古屋間のリニア中央新幹線の開業に向け、一宮市としても駅周辺の賑わいを創出させる必要があると考えるが、容積率緩和の狙いと問題点は何があるのか。

A 人口減少・高齢化が進む推計から、土地の高度利用による賑わい創出が必要。敷地の面積要件が問題であり、規制強化となる区域は経過措置期間を設けます。更に敷地の統合化に向けた支援策等を検討します。

一宮市の地域通貨について

Q 地域経済の活性化のため、マイナンバーカードの活用による「自治体ポイント制度」に参加できないか。

A 「自治体ポイント制度」は国の肝いり、先進的に取り組む自治体もある。商工会議所、商工会、商店街など、民間と連携して手法や成果を研究していきたいと考えています。

公共下水道の今後について

Q 企業債残高を大きく抱える中、公共下水道整備地区を縮小されたが、整備地区から外れた方々に対する対応策をしっかりと考えているのか。

A 上下水道部としては、現在特段の対応策はありません。環境部としても既存の補助制度しかありません。



水谷 千恵子 議員

(公明党)

男女共同参画社会の推進

Q 今までも男女共同参画社会に向けた一宮市の取り組みについて様々な角度から質問してきた。「第2次一宮市男女共同参画計画」も来年度が最終年度となることから総括の意味も込め確認しておきたい。掲げた目標で何が推進でき、何が進まなかったのか教えていただきたい。そして、改善できていない事については、今後も粘り強く取り組みを続けていただきたい。

A 基本目標の中で、政策・方針決定への男女参画の促進、生涯にわたる心身の健康と福祉の充実、女性に対する暴力の根絶の3つについては改善傾向にあり、人権を尊重する男女共同参画社会に向けた意識の向上、地域・家庭における男女共同参画の推進、就業の場における男女共同参画の環境づくりの3つの基本目標については計画策定時とあまり変わらない状況です。

食品ロスの取り組みについて

Q まだ食べられる食品が大量廃棄されている現状がある。食品ロスは様々な場面で発生するが約半数は家庭からと言われている。市民の皆様が参加できる取り組みとしてフードドライブを実施してはどうか。

A 啓発にもつながる取り組みとして実施に向けて検討中です。



渡部 晃久 議員

(新政会)

気軽に使える地域公共交通について

Q 運転免許証の自主返納支援事業は他市町と比較し魅力に乏しい。敬老バスやバス割引証等、継続的に公共交通を使い続けられる支援の検討を。

A 財政負担や免許不保持者の公平性から慎重検討せざるを得ません。民間事業者にも支援を呼びかけ、社会全体で後押しして頂けるようにしていきたいと思えます。

公共施設のあり方について

Q 地域文化広場のプラネタリウム館、観覧料は昭和60年から60円で県下最安である。しかし施設の老朽化も進んでいる。今後、この施設の統廃合等の可能性は。また施設更新などで魅力的な施設運営を行う為に、観覧料を改定する考えは。

A 施設の統廃合については今のところ考えておりません。観覧料については、今後の施設修繕料などの増加への対応も含めて、適正な受益者負担について検討していきたいと考えています。



その他の質問項目

- ・ いじめ等の対策について
- ・ キッズウィークについて



和田 彌一郎 議員

(新政会)

スポーツ振興について 平島公園野球場

Q 平島公園野球場は昭和25年の建設で既に67年経過している。規模的にも設備的にも問題があると思うが、利用団体からどんな要望があるのか。

A スコアボードの改修や専用駐車場の増設、プロ野球を呼べる規模の球場にしてほしい等のご意見があります。

Q スコアボード改修にはいくらかかるのか。

A 全体を取り換える場合約3億円かかるの見積もりです。

Q 老朽化が激しい施設に3億円も費用をかけるくらいなら、例えば新球場を千秋町の泉宮グラウンドに新設したほうが良いのではないか。

A 新設するには財源の確保が課題となります。老朽化した施設の修繕も同様です。

Q プロ野球の二軍が使用できる球場の建設費は5億円かかるのか。

A 平成26年時点での調査では13億5千万円ほどかかると思われます。

Q 競輪場跡地利用のプロポーザルが始まるが、土地の売却代金で新球場を建設する考えはないのか。

A 球場の整備を含めて一宮市の方性を考えます。

その他の質問項目

- ・ Aichi Dione
- ・ うちみんバザン



柴田 雄二 議員

(公明党)

地方創生に向けたSDGsの推進について

Q 持続可能な開発目標(SDGs)は、地方自治体においても重要な位置付けがされており、市民に最も身近に接する自治体が積極的に関わっていくことが重要。総合戦略等にSDGsの概念を取り入れて持続可能な社会の実現へ向けての推進を図りたい。

A SDGsで掲げた17の目標はどれも重要ですが、まずは人口減少対策を重視して、現状の総合戦略の取り組みを推進してまいります。

Q SDGsを市民へ理解普及を図るためにどのように取り組まれるか。

A 学校ではESDの考え方のもと、担い手を育み、目標達成に貢献していきます。環境部では、各世代に合わせ

て環境講座を開催するとともに、次世代を担う人材の育成を目的とした学習機会を提供してまいります。

「誰一人取り残さない」福祉について

Q 誰一人取り残さないためには、市民一人ひとりの意識変革が必要。支え合いの意識が醸成される環境づくりを推進されたい。

A 地域の皆さんが自分の地域を住みやすくしたいという願いを形にし、その方策を地域で考えていけるような取り組みを一層推進してまいります。



平松 邦江 議員

(公明党)

年を重ねていく上での不安軽減の取り組み

Q フレイル予防の取り組みについて、フレイルとは「虚弱」の意味で、介護が必要とまではいかないが様々な機能が衰えてきた状態をいう。健康寿命を延ばすには、栄養・運動・社会参加の3面のフレイル予防が重要である。今現在市が取り組んでいる3面それぞれの事業を問う。そして、フレイルの兆候に気づき、対応し改善するための「フレイルチェック」と「フレイルサポーター」が効果的であるので、その導入を提案したい。

A 介護予防サポーター育成事業をすでに実施しています。フレイルチェックの活用は検討していきます。

Q 支える家族等へのケアについて、育児をしながら介護を行うダブルケアが社会問題化しているので相談体制の充実と広報を要望したいがいかがか。

A ダブルケアの総合窓口は設置していませんが「健康ひろば」に一体的に掲載し包括的に取り組めます。

Q 終活の取り組みについて、最期を迎えたときの不安やトラブルを軽減するために終活の取り組みが大事。その取り組みの一例としてエンディングノートの作成はどうか。

A 市が作成するものとは考えていませんが、他市の動向を見守ります。



長谷川 八十 議員

(新政会)

はつらつ農業塾の取り組みについて

Q はつらつ農業塾の事業内容を説明されたい。

A 新規就農を目指す方を対象とした「担い手育成コース」と、定年退職者等が農業の基礎を学べる「生きがい農業コース」の2つを実施しています。

Q 各コースの卒業生の人数とその後、どの様に農業に関わっているか。また市はどのような支援を行っているか。

A 卒業生は担い手育成コースが52名、生きがい農業コースが377名です。担い手育成コースを卒業された方では、JA愛知西だいこん部会に2名、夏秋なす部会に5名、木曾川町玉葱採

種組合に3名が加入し、新たな担い手として活躍しています。生きがい農業コースを卒業された方の中には共同でグループを作り、地域の朝市等に出店している方もいます。支援としては平成27年度から「農業後継者支援事業」を実施しております。平成29年度から、新たに「農業担い手育成事業」を実施し、これら2つの事業を中心に、農業経営が持続的に展開される様に、新規で就農される方を支援しています。生きがい農業コースでは、自主的に卒業生で情報交換を行うはつらつ農業生の集いを後援しています。

その他の質問項目

- ・ 農業経営における有害鳥獣対策



彦坂 和子 議員

(日本共産党 一宮市議員)

第7期一宮市高齢者福祉計画について

Q 地域包括支援センターを中学校区ごとに設置してほしい。国の委託を受けての報告書でも「中学校を基本とmodelとする」。

A 市の面積はさほど広くなく、各センターは三〇分以内で駆け付けられる圏域のため、センターの増設ではなく、業務に対応できる適正な職員配置に努めていきます。

子供を大切に育てる学校給食について

Q 市が発注している学校給食納入業者名を公表してほしい。保護者・市民に必要な資料を公開するのは当然ではないか。

A 一宮市学校給食会の物資納入業者として指定した業者名を、同会ウェブサイトで新年度から公開します。

Q 一宮地区の共同調理場、尾西・木曾川地区の単独調理場全てが老朽化している中、今後の調理場建設計画案決定前に、市民への報告会開催など、市民の声を聞いて進めてほしい。

A 基本計画案を明示できる段階で、パブリックコメントを行い、市民の意見を聞きます。

その他の質問項目

・一宮市公共施設等総合管理計画について



井上 文男 議員

(新政会)

未来の一宮市について

Q 市長の描く未来の一宮市とは。

A 外から人を、企業を、投資を、呼び込み活気のある一宮市を目指していきます。

ごみの収集について

Q なぜ市はごみの収集をしなければいけないのか。

A 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で家庭から出されたごみは、市に処理責任があるからです。

学童の通学路について

Q 小学校の登下校中の事故を無くすため、安全指導はどのようにしているのか。

A 危険予知トレーニングを実施して、またヒヤリマップを作成して、指導し各家庭や地域に配布しています。

Q 通学時間が長いと交通事故にあう危険性が高くなると思うが、安全対策はどのように進めているのか。

A 通学路の事故の発生状況、車両の速度などを参考に安全対策を検討してまいります。



鶴飼 和司 議員

(一志会)

一宮市の教育と子育て支援について

Q 人口減少社会を、一宮市がどう乗り越えていく事ができるかが課題。平成29年の自然増減▲834人、社会増減+787人。転出数を減らし転入数を増やす事が肝要。そこで放課後児童クラブについて、以前質問した「対象児童要件の勤務終了時間には通勤時間を含め、家庭の実質不在時間を考慮すべき」との提案について、ご検討は頂けたか。

A 議員提案を受け検討した結果、30年度の申込みから可能となりました。

Q 今後のコンパクトで効率的なまちづくりを進める立地適正化計画。そこで若い世代の定住を促すため都市機能誘導区域ごとに休日及び病児保育事業を将来的に実施する考えはあるか。

A ニーズをしっかり把握分析し、議員の意見を参考に検討していきます。

Q 不登校やいじめ問題が心配される中、30年度から始まる小学校道徳の教科化。複雑かつ成果を求められる社会で子ども達は「命を大切にしよう(たくましく挫く)けず努力する事」が必要。新しい道徳への転換点、教育現場の先生には子ども達の助けとなる更なる教育力の発揮に、余裕を持って取り組む必要性が高まるが、教員の多忙化をどう考えるか。

A 解決が必要な重要課題と捉え、教職員が子どもと向き合える環境を整えて参りたいと考えています。



尾関 宗夫 議員

(日本共産党 一宮市議員)

教職員の長時間過密労働の解消を目指す有意義な取り組みを

Q 教職員の多忙化解消するための最も効果的な方法は、全ての学年で少人数学級を取り入れることと思う。市の考えをお聞きたい。

A 県の定める小中学校教職員配当方針により、教職員が配置され、児童生徒数と学級数を基準に、数が決められている。少人数学級は学級編制基準の改正によって国や県が実施するもので、市単独基準で常勤講師を雇用すると財政的負担となる。現在、市独自で少人数学級実施計画はありません。市は35人以上の学級中心に非常勤講師を配置し決め細かな指導をしています。

Q 県内では犬山市が小中校全ての学年30人学級。蒲郡市は小中全て35人学級。豊田市は小学1年32人、2・3年35人、中学校は35人学級。他市の事例を参考とし、非常勤講師を増やし正規教員の負担軽減となるのか。先生が余裕を持ち児童生徒に向き合い、話を聞く取り組みを行っているか。

A 非常勤講師は学校の実情に応じた教科を担当。再任用教員は一般教員に求められるように一人で教科を担います。

その他の質問項目

・税滞納者への対応
・障害福祉計画の策定
・公共交通の充実を



議案・請願審議結果

平成30年3月定例会では市長提案議案46件、請願書7件、委員会提出議案2件を審議しました。青く色付けした議案は賛否の分かれた議案です。

ID 1023410

議決結果一覧表

議案番号	件名	付託委員会				議決結果
		企	福	経	建	
市長提出 1	平成30年度愛知県一宮市一般会計予算	●	●	●	●	可決
市長提出 2	平成30年度愛知県一宮市競輪事業特別会計予算			●		可決
市長提出 3	平成30年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計予算		●			可決
市長提出 4	平成30年度愛知県一宮市後期高齢者医療事業特別会計予算		●			可決
市長提出 5	平成30年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計予算		●			可決
市長提出 6	平成30年度愛知県一宮市簡易水道事業特別会計予算				●	可決
市長提出 7	平成30年度愛知県一宮市公共駐車場事業特別会計予算	●				可決
市長提出 8	平成30年度愛知県一宮市病院事業会計予算		●			可決
市長提出 9	平成30年度愛知県一宮市水道事業会計予算				●	可決
市長提出10	平成30年度愛知県一宮市下水道事業会計予算				●	可決
市長提出11	平成29年度愛知県一宮市一般会計補正予算	●	●	●	●	可決
市長提出12	平成29年度愛知県一宮市競輪事業特別会計補正予算			●		可決
市長提出13	平成29年度愛知県一宮市国民健康保険事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出14	平成29年度愛知県一宮市介護保険事業特別会計補正予算		●			可決
市長提出15	平成29年度愛知県一宮市病院事業会計補正予算		●			可決
市長提出16	平成29年度愛知県一宮市水道事業会計補正予算				●	可決
市長提出17	平成29年度愛知県一宮市下水道事業会計補正予算				●	可決
市長提出18	一宮市部等の設置に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出19	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に関する条例の一部改正について		●		●	可決
市長提出20	一宮市職員定数条例の一部改正について	●				可決
市長提出21	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出22	一宮市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	●				可決
市長提出23	一宮市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	●				可決
市長提出24	一宮市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出25	特別職員の給与に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出26	一宮市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	●				可決
市長提出27	一宮市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	●				可決
市長提出28	一宮市手数料条例の一部改正について	●	●	●	●	可決
市長提出29	一宮市保育所条例の一部改正について		●			可決
市長提出30	一宮市母子・父子家庭等医療費の助成に関する条例等の一部改正について		●			可決
市長提出31	一宮市歯と口の健康づくり推進条例の制定について		●			可決
市長提出32	一宮市公衆便所条例の一部改正について			●		可決
市長提出33	一宮市国民健康保険税条例の一部改正について		●			可決
市長提出34	一宮市介護保険条例の一部改正について		●			可決
市長提出35	一宮市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について		●			可決
市長提出36	一宮市地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について				●	可決
市長提出37	一宮市営住宅条例の一部改正について				●	可決
市長提出38	一宮市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正について				●	可決
市長提出39	一宮市都市公園条例の一部改正について				●	可決
市長提出40	一宮市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について			●		可決
市長提出41	一宮市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について		●			可決
市長提出42	一宮市消防団条例の一部改正について	●				可決
市長提出43	萩原公民館建設工事の請負契約の締結について			●		可決
市長提出44	市道路線の認定について				●	可決
市長提出45	民間資金等の活用による一宮市立小学校空調設備整備事業に係る契約の締結について			●		可決
同意1	固定資産評価審査委員会委員の選任について				付託省略	同意

企 〓 企画総務委員会、福 〓 福祉健康委員会、経 〓 経済教育委員会、建 〓 建設水道委員会を略す。

議案番号	件名	付託委員会				議決結果
		企	福	経	建	
請願33	公共施設を活用した児童クラブの拡充を求める件		●			不採択
請願34	安全・安心の医療と介護の実現をめざす国への意見書を求める件		●			不採択
請願36	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める件			●		不採択
請願37	国民健康保険都道府県単位化の下での保険税や減免制度に関する件		●			不採択
請願38	障がい児・者の生きる基礎となる「暮らしの場」の早急な整備を求める件		●			不採択
請願39	所得税法第56条の廃止を求める件	●				不採択
請願40	自治体病院の経営の安定化を図るため「控除対象外消費税の解消を求める意見書」の提出を求める件		●			不採択
委員会提出1	一宮市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	付託省略				可決
委員会提出2	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書	付託省略				可決

賛否の分かれた議案について、議員の賛否は下記のとおりです。(○は賛成、×は反対) 氏名の掲載は党派別に五十音順です。

会派名	新政会										一志会					公明党				共産党		新緑風会		自愛市改															
	氏名										氏名					氏名				氏名		氏名		氏名															
議案番号	浅井俊彦	井田吉彦	井上文男	岡本将嗣	佐藤英俊	島津秀典	竹山安郎	長谷川八十	花谷昌章	日比野友治	横井忠史	和田彌一郎	渡辺之良	渡部晃久	鷗飼和司	太田文純	大津純	京極扶美子	高木宏昌	松井哲朗	森ひとみ	森村弘保	河村保二	柴田邦江	平松千恵子	水谷千恵子	渡辺宣之	尾関宗夫	橋本浩三	彦坂和子	高橋一仁	中村裕廣	西脇裕通	伊藤祝夫	谷部修寛	服部光生	末松光生		
市長提出 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長提出 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出 5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願33	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願34	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願36	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願37	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願38	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願39	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願40	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※共産党＝日本共産党一宮市議団、自民＝自由民主党一宮市議会、愛西＝愛西会、市民＝一宮市民クラブ、改革＝改革クラブの略です。

国に意見書を提出しました



地方自治法第99条の規定に基づき、3月定例会では下記の意見書を議決し、平成30年3月23日に国等に提出しました。

洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書

意見書はウェブサイトで公開しています。 **ID 1023439**

議員の辞職

橋本浩三議員(日本共産党一宮市議団)は、一身上の都合により、平成30年3月31日付けで辞職となりました。

傍聴してみませんか?

市議会本会議と委員会は一般に公開されています。市政への知識を深めたり、市議会の活動などを知ることができますので、ぜひ、市役所本庁舎に傍聴にお越しください。3月定例会には延べ195人の方が傍聴にお越しただいています。

傍聴の際の手話通訳も手配いたしますので、ご希望の方は傍聴予定日の5日前までにお申し込みください。

ID 1005038



ご自宅などでご覧になるには・・・

- 本会議の生中継
インターネット、ケーブルテレビ(ICC)で配信
- 委員会の生中継
インターネットで配信(平成30年3月定例会から)
- 本会議の録画中継
インターネットで開催日の約1週間後から配信
※詳しくは、市議会ウェブサイトをごらんください。



ID 1010237



三八市

いまから二百九十年前の享保十二年（一七二七年）に真清田神社門前に開市した「三八市」。文字どおり三と八のつく日に開かれ、一宮村はじめ近くの村々から多くの人々が訪れ、大変な賑わいだっただけです。

江戸時代の三八市の様子
出典：尾張名所図会後編巻之一（愛知県図書館所蔵）



「尾張名所図会」にも「商いは日々に賑わいだっただけです。」



明治頃の三八市
出典：愛知県写真帖

一宮は語呂合わせで「138」。そして三八市、さらに現在の人口は38万人を数え、私たち一宮市議会の議員定数も38人です。やはり三八に縁がありますね。

第二次大戦の激化と共に売れるものがなくなり、次第に姿を消してしまつた三八市。しかし、ここ数年で往時を偲ばせるイベントも復活しています。毎月一回のマルシェ、毎年5月の「杜の宮市」をはじめ、ここ宮前三八市広場を会場に様々なイベントが開かれるようになりました。市中心部の賑わい創出に、さらなる有効活用も楽しみです。



宮前三八市広場
撮影：編集員

栄えてますみ田の神や守らん一の宮市」と詠われています。まさに真清田神社門前に栄えた一宮のルーツ。現在、真清田神社前の広場は「宮前三八市場」と名付けられています。

次の定例会の日程(予定)

日程は変更になることがあります。 ID 1005106

6月4日(月) 本会議(開会日)
6月11日(月) 本会議(一般質問)
6月12日(火) 本会議(一般質問)
6月13日(水) 本会議(一般質問)
6月26日(火) 本会議(閉会日)

6月15日(金) 総務委員会
6月18日(月) 福祉健康委員会
6月19日(火) 経済教育委員会
6月20日(水) 建設水道委員会

■開議時刻……午前9時30分
■傍聴場所……本庁舎14階 議場傍聴席

■開議時刻……午前9時30分
■傍聴受付場所……本庁舎12階 議会事務局
■傍聴受付開始時刻……午前9時(定員10名)

編集後記

3月議会では、新年度予算ほか、たくさんの方が審議をされました。議会への関心も高まり、市民の皆様には、固唾を呑む思いで審議の様子を見守っていただきました。そのような議会の空気を一人でも多くの市民の皆様にお届けできる様、勤儉力行の決意で、よりわかりやすい議会だよりを目指してまいります。

議会だより編集会議

座長 島津 秀典
渡部 晃久

副座長 鵜飼 和司
河村 弘保 高橋 一

尾関 宗夫 服部 修寛

一宮市議会の情報については、一宮市のウェブサイト(ホームページ)からご覧いただけます。 ID 1000010



一宮市マスコットキャラクター
いちみん